



あわせ信州

女性技術者の現場見学会・意見交換会を 新県立大学建築現場で開催しました

長野市三輪の新県立大学建築現場(長野市)において、女性技術者活躍に向けた現場見学会と意見交換会を開催しました。

新県立大学建築現場状況

意見交換会・見学会

- 日時 平成 29 年 2 月 1 日 (水)
- 会場 長野市 新県立大学建築現場
- 参加者 (25 名 内女性技術者等 20 名)
 - ・大成・岡谷 J V (協力会社含む)
竹田所長他 6 名
 - ・大成建設(株)
畠中さん、野澤さん
 - ・(一社)長野県建設業協会 (女性部会)
平澤部会長他 7 名
 - ・県 建築関係女性技術者 8 名
- 内容
 - ・女性専用ルーム等の見学
 - ・女性技術者の活躍についての意見交換会



大成・岡谷 J V 伊藤主任



建設業協会女性部会 平澤部会長他



けんせつ小町のロゴ



小町ノート



意見交換会の状況



参加者からの女性技術者活躍の事例紹介

◇ 新県立大学現場を「けんせつ小町」に登録した経緯

H28年11月に「しらかば工事チーム」としてけんせつ小町に登録。
新県立大学入札時の技術提案の中で女性の働きやすい現場環境の項目があり、トイレや休憩所など設置を提案した。

◇ (一社)日本建設業連合会(日建連)のけんせつ小町の活動

けんせつ小町として女性技術者の入就と定着を図っている。
けんせつ小町のマークを使いポスターやハローワークでPRをしている。

◇ (一社)長野県建設業協会女性部会の活動

建設業協会女性部会はH27年7月に発足した。
女性技術者の現場見学会の開催や小さなお子さんがいるママを対象とした見学会への参加などを行っている。ホームページでのPRを行っている。
女性部会で情報交換した結果、女性トイレは必須アイテムとなった。

◇ 新県立大学建築現場における工夫

小町ノート (上の写真) を使い、ちょっとした提案や苦情の情報共有を図った。
それにより、施設の改善と女性の考えが男性にも伝わった。



女性更衣室・トイレ



女性更衣室・トイレ

主な意見

- ◇ 昔は結婚を機に辞めていった女性技術者も多かった。
- ◇ 現在は、復職のために休暇中も定期的に面談する制度がある。復職した後、時短勤務の可能となっている。
- ◇ 朝礼は保育園の送りで参加できないが、別の人に任せている。朝礼の内容をボードに書き、スマホで撮影し送ることで情報共有が図られる。
- ◇ 会社や現場の規模の違いで10人に1人なら対応できるが、3人に1人ではきつい。
- ◇ 全ての会社、現場で同じにはできない。
- ◇ ペアを組み、プライベートのことも話しておくことで、急な休みを取得しやすくなる。
- ◇ 今は育休などの制度は整ってきたので、知らずにいるのはいけない。積極的に活用するのが重要と思う。
- ◇ 育休を取ったら、代わりに誰かが入る事になるが、同じ職場に戻れるかどうかは、求められる人材かどうか重要なポイント。
- ◇ もっと建設現場で女性が活躍していることを情報発信しないと、新たな入職に繋がらない。テレビドラマのテーマになれば影響が大きい。
- ◇ 現場で働いていると、相談したくても女性技術者がどこにいるのか分からない。同じ建設業で働く女性が近くにいて、情報共有できる事は大切。このような機会は重要。
- ◇ 結婚・出産などを含めて女性としての働き方を考えていかなければいけない。そのためには、女性・男性問わずに皆が働きやすい環境を作ることが大事。

しあわせ信州創造プラン（長野県総合5か年計画）推進中

オール信州で取り組む 地消○地産

「地域の消費」と「地域の生産」を結んで
地域内経済循環の輪を広げます。

長野県建設政策課技術管理室
 (室長) 猿田 吉秀 (担当) 足立 修
 電話 026-235-7312(直通)
 026-232-0111(代表)内線3329
 FAX 026-235-7482
 e-mail gjuukan-kijunshido@pref.nagano.lg.jp

長野県建設部施設課施設第一係
 (課長) 矢澤 博 (担当) 下田 敏
 電話 026-235-7343(直通)
 026-232-0111(代表)内線3666
 FAX 026-235-7477
 e-mail shisetsu@pref.nagano.lg.jp